

舞踊

きたたまり

あたたご

山と生活、
人々の祈り。
愛宕山へ捧げる、
奉納の舞

サーキュレーションキョウト
CIRCULATION KYOTO
劇場編 河京

2019
3月23日「土」 18時開演
24日「日」 15時開演
会場 京都市右京ふれあい文化会館 ホール

ロームシアター京都
ROMI Theatre Kyoto

ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 地域の課題を考えるプラットフォーム
CIRCULATION KYOTO(サーキュレーションキョウト)劇場編

日程 2018年12月1日「土」↓2019年3月24日「日」 会場 京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエステイ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館 ●文化会館を巡りながら京都のまちを体感する4カ月15組のアーティスト(中野成樹+フランケンズ、村川拓也、相模友士郎、遠山昇司、きたまり)が、京都の中心部を囲む5つの地域(伏見区・西京区・山科区・北区・右京区)を出発点に創作し、新作の舞台作品を連続して発表。

きたまり
『あたご』

2019年3月23日[土] 18:00開演、24日[日] 15:00開演

※開場は開演30分前を予定

会場 | 京都市右京ふれあい文化会館 ホール

山と生活、人々の祈り。
愛宕山へ捧げる、奉納の舞

古くから火の神として京都の人々から厚い信仰を集めてきた愛宕山。芸能にも影響を与え、狂言、舞、落語、和歌などにも数多く登場するこの山への人々の「祈り」に注目し、現代における奉納の舞として、新作舞踊を披露する。

振付・演出 | きたまり ドラマトゥルク | 木ノ下裕一、武田力
出演 | 斎藤綾子、益田さち、野村香子 演奏 | 嵯峨大念佛狂言保存会
舞台監督 | 浜村修司 照明 | 吉本有輝子 音響 | 佐藤武紀
衣裳 | 大野知英 制作 | 山崎佳奈子 地域ドラマトゥルク | 中智紀



きたまり
振付家、ダンサー。1983年生まれ。京都市在住。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科在学中の2003年よりダンスカンパニー「KIKIKIKIKI」主宰。出演者のブログから映画、伝統芸能、クラシック音楽まで、あらゆる素材からダンスを創作。近年ではグスタフ・マーラーの交響曲全10曲を振付するプロジェクトを開始し、同プロジェクト2作目『夜の歌』で文化庁芸術祭新人賞(2016年度)を受賞。また、多田淳之介、木ノ下歌舞伎、ディディエ・ガラスなどジャンルを越境した共同制作を国内外で積極的に展開する。

【チケット】
全席自由
一般 2,500円
ユース (25歳以下) 1,500円
シニア (70歳以上) 1,500円

※車椅子でご来場の方は、事前にロームシアター京都チケットカウンターまでご連絡をお願いします。
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
※ユース、シニアチケットご購入者は、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、保険証等)をご提示のうえ、入場券とお引換えください。

- ロームシアター京都 オンラインチケット
24時間購入可 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
要事前登録(無料)
- ロームシアター京都 チケットカウンター
TEL.075-746-3201
(窓口・電話とも10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)
- 京都市右京ふれあい文化会館
TEL.075-822-3349
(窓口・電話とも9:00~19:00/毎週火曜日休館(休日の場合は翌日))
- 京都コンサートホール チケットカウンター
TEL.075-711-3231
(窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

お問い合わせ
ロームシアター京都
075-771-6051

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市 助成 | 一般財団法人地域創造、平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、公益財団法人セゾン文化財団、京都芸術センター制作支援事業



演出ノート

「あたご」との馴れ初め

3年前に山がキレイに見えるという理由で右京区に引っ越してきました。

そのキレイに見えた山が《愛宕山》でした。

人生には“縁”という得体の知れないものが存在していて、気づけば側にいたり、あったりするものがあります。今回は愛宕山を題材に「あたご」という舞踊を作るのも、そんな“縁”というものに引っ張られた気がします。

そして今回、愛宕山と同様に作品の題材になるのが嵯峨大念佛狂言(通称・嵯峨狂言)です。清凉寺(嵯峨釈迦堂)の境内で、およそ500年前から行われてきた民俗芸能で、笛・太鼓・鉦の3つの楽器のお囃子の中で、身振り手振りで演じる無言の仮面劇です。

この嵯峨狂言の中に出てくる所作の一部を現代に翻訳したり脚色したりしながら、古来から山に祈りを向けてきた人々や、500年後の人々に向けて舞踊を繰り広げます。

私にとって舞踊とは言葉を介さずに身振り手振りを通して、人々に伝え、感じ、考えてもらう芸能なので、そういう意味で今回作るのもしかして嵯峨狂言へのオマージュになるかも知れません。“縁”あるものは避けられない性分の為、2019年の春の初めに500年前のお囃子の中で愛宕山に向けた奉納の舞を勝手ながらご披露します。どうぞ劇場にお参りください。

きたまり



京都市右京ふれあい文化会館
〒616-8065 京都市右京区太秦安井西裏町11番地の6
JR嵯峨野線 | 「花園」下車徒歩5分
市営地下鉄 | 東西線「太秦天神川」下車1番出口より徒歩10分
京福電鉄嵐山線 | 「嵐電天神川」下車徒歩12分